

## 4. 高校の窓

### (1) 生徒の海外派遣・受入（令和4年度）

| 学 校             | 区分 | 派遣・受入先国  | 留学期間                    | 派遣機関等   |
|-----------------|----|----------|-------------------------|---|
| 岐阜<br>高等学校      | 派遣 | ドイツ      | R4. 8. 13～R5. 7. 8      | YFU日本国際交流財団   |
|                 |    | アメリカ     | R4. 8. 16～R5. 8. 15     | ロータリークラブ  |
|                 |    | カナダ      | R4. 9. 3～R5. 7. 31      | YFU日本国際交流財団   |
| 岐阜北<br>高等学校     | 派遣 | ブラジル     | R5. 2. 9～R6. 1. 14      | AFS日本協会   |
| 長良<br>高等学校      | 派遣 | カナダ      | R4. 8. 27～R5. 6         | ディーサイド留学情報センター  |
|                 |    | ニュージーランド | R5. 2. 1～R5. 11         | WYS教育交流日本団体   |
|                 | 受入 | アメリカ     | R4. 5. 2～R4. 12. 23     | YFU日本国際交流財団   |
| 加納<br>高等学校      | 派遣 | カナダ      | R4. 8. 19～R5. 8. 10     | 私費留学  |
| 岐阜総合学園<br>高等学校  | 受入 | タイ       | R4. 7. 4～R5. 3. 10      | AFS日本協会   |
| 羽島<br>高等学校      | 派遣 | アメリカ     | R4. 8. 29～R5. 4. 21     | 羽島ロータリークラブ  |
| 揖斐<br>高等学校      | 派遣 | アメリカ     | R5. 1. 19～R5. 1. 27     | 揖斐川町（高校生海外研修派遣事業）   |
| 大垣北<br>高等学校     | 派遣 | アイルランド   | R4. 8. 29～R5. 6. 2      | PIEE  |
|                 |    | アメリカ     | R4. 8. 25～R5. 6         | ISA   |
|                 |    | カナダ      | R3. 4～R5. 6             | ハリファックスサポートセンター   |
| 大垣東<br>高等学校     | 派遣 | カナダ      | R3. 8. 15～R4. 8. 1      | 私費留学  |
| 大垣商業<br>高等学校    | 派遣 | アメリカ     | R5. 1. 15～R5. 3. 5      | EF I.L.C サンディエゴ校  |
|                 |    | アメリカ     | R5. 2. 20～R5. 3. 31     | EF I.L.C サンディエゴ校  |
| 関高等学校           | 受入 | アメリカ     | R4. 5. 24～R5. 2. 5      | AFS日本協会   |
| 多治見<br>高等学校     | 受入 | ドイツ      | R4. 9. 12～ R5. 6. 23    | WFS   |
| 恵那<br>高等学校      | 派遣 | アメリカ     | R4. 8. 25～R5. 6. 7      | 恵那地球塾第4期生として派遣（JFIE）<br>カリフォルニア州 Vanden High School       |
|                 | 派遣 | アメリカ     | R4. 8. 25～R5. 6. 7      | 恵那地球塾第4期生として派遣（JFIE）<br>ケンタッキー州 Dixie Heights High School |
|                 | 派遣 | アメリカ     | R4. 8. 25～R5. 6. 7      | 恵那地球塾第4期生として派遣（JFIE）<br>テキサス州 Huntsville High School      |
| 中津<br>高等学校      | 派遣 | アメリカ     | R3. 8. 6～R4. 6. 4       | JFIE 日本国際交流振興会  |
|                 | 派遣 | アメリカ     | R3. 8. 25～R4. 6. 15     | JFIE 日本国際交流振興会  |
|                 | 派遣 | アメリカ     | R3. 8. 25～R4. 6. 3      | JFIE 日本国際交流振興会  |
| 益田清風<br>高等学校    | 受入 | スウェーデン   | R4. 8. 25～R5. 7. 16     | ロータリークラブ  |
| 鶯谷中学<br>・高等学校   | 派遣 | アメリカ     | R5. 3. 13～R5. 3. 20     | ISA   |
|                 | 受入 | アメリカ     | R4. 8. 1～R5. 7. 31      | ロータリークラブ  |
| 富田<br>高等学校      | 派遣 | カナダ      | R4. 1. 30～R4. 12. 16    | 学校正規留学（ISA）   |
|                 | 派遣 | ニュージーランド | R5. 1. 14～R5. 12. 2（予定） | 学校正規留学（JTC）   |
| 岐阜聖徳学園<br>高等学校  | 派遣 | アメリカ     | R4. 8. 13～R5. 8. 12     | 私費留学（ロータリークラブ）  |
| 聖マリア女学院<br>高等学校 | 派遣 | カナダ      | R4. 4～R5. 3             | JFIE 日本国際交流振興会  |
|                 | 派遣 | アメリカ     | R4. 8～R5. 7             | JFIE 日本国際交流振興会  |
|                 | 派遣 | アイルランド   | R4. 8～R5. 7             | JFIE 日本国際交流振興会  |

| 学 校          | 区分 | 派遣・受入先国 | 留学期間                | 派遣機関等                 |
|--------------|----|---------|---------------------|-----------------------|
| 岐阜女子<br>高等学校 | 受入 | セネガル    | R4. 4. 1～R6. 3. 31  | 私費留学                  |
|              |    | セネガル    | R4. 4. 1～R7. 3. 31  | 私費留学                  |
| 麗澤瑞浪<br>高等学校 | 派遣 | オーストラリア | R5. 2. 1～R5. 5. 9   | 姉妹校交換留学               |
|              | 受入 | インドネシア  | R4. 6. 25～R5. 3. 12 | 文部科学省 アジア高校生架け橋プロジェクト |
|              | 受入 | カンボジア   | R4. 7. 25～R5. 3. 12 | 文部科学省 アジア高校生架け橋プロジェクト |
|              | 受入 | 台湾      | R4. 8. 22～R5. 7. 13 | 台湾高校生日本留学事業（日本台湾交流協会） |
|              | 受入 | オーストラリア | R4. 9. 4～R4. 12. 9  | 姉妹校交換留学               |
| 中京<br>高等学校   | 派遣 | カナダ     | R5. 3. 30～R6. 2. 11 | 学校正規留学                |
|              |    | カナダ     | R4. 3. 25～R5. 2. 12 | 学校正規留学                |
| 高山西<br>高等学校  | 受入 | シンガポール  | R4. 12. 5～R4. 12. 8 | 高山西高校 シンガポール教育省語学センター |
|              |    | 韓国      | R4. 12. 13          | 高山西高校 韓国安東(あんどん)中央高校  |
| 清凌<br>高等学校   | 受入 | オーストラリア | R5. 1. 10～R5. 1. 27 | 私費留学（姉妹校交流）           |

(2) 国際交流活動・国際理解教育行事（令和4年度）

| 学校名         | 活動・事業名<br>(主催者)                                 | 実施時期                      | 参加者数                      | 活動・事業内容   |
|-------------|---|---------------------------|---------------------------|---|
| 岐阜<br>高等学校  | 国際交流体験プログラム<br>「歴史教育によるリトアニアの<br>国民性形成」         | R4. 7. 1                  | 33名<br>(1年20名、2年6名、3年7名)  | リトアニア出身である岐阜県国際交流員であるゲドレ・ドルスカイテさんをお招きして、リトアニアの教育について、オールイングリッシュでご講演いただいた。 |
|             | 国際交流体験プログラム<br>外務省「高校講座」                        | R4. 7. 13                 | 36名<br>(1年18名、2年16名、3年2名) | 日本と国際社会の平和と安全を守るため、外務省がどのような活動をしているかを学んだ。                                 |
|             | エンパワーメントプログラム<br>(ISA)                          | R4. 8. 15<br>～R4. 8. 19   | 42名<br>(1年39名、2年3名)       | 日本の大学に在籍する留学生と少人数のグループでディスカッションやプレゼンテーションを行った。                            |
|             | 国際交流体験プログラム<br>「国際協力、多文化共生研修会」<br>(JICA中部センター等) | R4. 9. 28                 | 20名<br>(1年11名、2年9名)       | JICA中部センターなごや地球ひろば、名古屋国際センターの2施設を訪問し、施設見学、外国人スタッフとの交流を行った。                |
|             | 国際交流体験プログラム<br>「伝統文化の継承と新しい挑戦」<br>(津軽三味線 小山会)   | R4. 10. 28                | 20名<br>(1年12名、2年8名)       | 海外で多数の演奏活動を行っている講師から、伝統文化の継承と地域アイデンティティについて学んだ。                           |
| 岐阜北<br>高等学校 | エンパワーメントプログラム<br>(ISA)                          | R4. 8. 15<br>～R4. 8. 19   | 19名<br>(本校生徒11名)          | 複数校合同で、海外にルーツを持つ大学(院)生と、テーマ別ディスカッションやプレゼンテーションに英語で取り組み、積極性や主体性の涵養を図る。     |
| 岐山<br>高等学校  | ベトナム フェ省<br>クオック・ホック高校との交流<br>(岐山高校)            | R5. 1. 16                 | 30名 (生徒26名 職員4名)          | オンラインでの交流<br>(少人数グループに分かれて互いの国の紹介など)                                      |
|             | ベトナム フェ省<br>クオック・ホック高校視察<br>(クオック・ホック高校)        | R4. 12. 13<br>～R4. 12. 15 | 4名 (職員)                   | 現地高校の視察<br>姉妹校提携の交渉   |
|             | micro留学<br>(岐山高校)                               | R5. 1. 30                 | 20名 (生徒)                  | ニュージーランドの人たちとオンラインで交流   |
| 加納<br>高等学校  | エンパワーメントプログラム<br>(ISA)                          | R4. 8. 15<br>～R4. 8. 19   | 7名<br>(1年5名、2年2名)         | 日本の大学に在籍する留学生と少人数のグループでディスカッションやプレゼンテーションを英語で行う。                          |

| 学校名          | 活動・事業名<br>(主催者)                                 | 実施時期                     | 参加者数  | 活動・事業内容  |
|--------------|---|--------------------------|---|--|
| 羽島北<br>高等学校  | 国際理解講話①<br>(羽島北高校)                              | R4. 7. 20                | 生徒712人 (全校生徒)   | 「お笑い芸人さんと楽しく学ぶSDGsと平和な未来」と題し、たかまつななさん(お笑い芸人)とガリベンズ矢野さんを講師に迎え、SDGsババ抜きを使ってオンラインでSDGsについて考えた。                      |
|              | 国際理解講話②<br>(羽島北高校)                              | R4. 10. 31               | 生徒712人 (全校生徒)   | 「ちいさな一歩の始め方」と題し、障がいのある子供と一緒に家族で世界一周をした戸田愛さんを講師に迎え、オンラインと対面で自分らしい生き方を考え、世界へと視野を広げた。                               |
|              | 国際理解講話③<br>(羽島北高校)                              | R5. 2. 2                 | 生徒474人 (1、2年次生徒)  | 「若者に伝えたい ウクライナの体験と日本の在り方」と題し、ウクライナから避難してきた葛西孝久さんを講師に迎え、戦争や平和について考えた。途中、ヘルシンキ在住のウクライナ人女性にオンラインでつなぎ、戦争体験者の生の声を聞いた。 |
|              | 姉妹校とのペンパル交流<br>(羽島北高校)                          | R4. 4~R5. 1              | 14名<br>(Practical Englishの授業<br>選択者)                                      | 選択授業の中で、姉妹校の生徒とペンパルを組み、文通を行った。日本語と英語の両方を使って合計3ターンの文通をして、互いの語学力と文化・相互理解を深めた。最後に羽子板を作ってプレゼントした。                    |
|              | 姉妹校とのオンライン交流<br>(羽島北高校)                         |                          | 20名 (生徒有志)  | 生徒有志がオンラインで姉妹校の生徒たちに堤防の桜の生中継をした。   |
| 岐阜商業<br>高等学校 | 海外研修代替東京研修<br>(ISA)                             | R4. 8. 31<br>~R4. 9. 2   | 3年国際コミュニケーション<br>科 33名 (男子5名 女子28<br>名)                                   | 東京グローバルゲートウェイ (英語研修施設) にて、英語が飛び交う環境に身を置き、語学力の向上を図る。  |
|              | オンライン英会話<br>(本校・GRASグループ)                       | R4. 4. 初旬<br>~R5. 2. 初旬  | 1・2年全員 723名<br>(男子344名 女子379名)<br>3年国際コミュニケーション<br>科 41名 (男子8名 女子33<br>名) | ネイティブ講師との1対1の英会話を期間内に2回受講 (国際コミュニケーション・グローバルビジネス科は通年で実施)   |
| 岐阜農林<br>高等学校 | 研究発表交流会<br>(岐阜農林高等学校)                           | R5. 1. 30                | 12名   | 各校での課題研究等の内容について交流を行った。  |
| 岐阜工業<br>高等学校 | 台南高級工業職業学校の生徒、<br>教員との交流会<br>(岐阜工業高校)           | R4. 4. 27                | 2名 (3年生 2名)   | オンラインで、両校の生徒同士交流した。  |
| 池田<br>高等学校   | ウクライナ人留学生との交流<br>(池田高校・朝日大学)                    | R4. 12. 21               | 約400名<br>(池田高校全校生徒<br>朝日大学ウクライナ人留<br>学生3名, 朝日大学職員)                        | 朝日大学学長によるキャリア教育講演会の中で実施。朝日大学のウクライナ人留学生によるプレゼンテーション及び交流   |
|              | 池田高校国際プログラム<br>(池田高校・朝日大学)                      | R4. 12. 26               | 59名<br>(池田高校17名<br>朝日大学留学生別科42名)  | 大学留学生との文化・意見交流   |
| 大垣北<br>高等学校  | エンパワーメントプログラム<br>(岐阜高校・大垣北高校合同<br>プロジェクト) (ISA) | R4. 8. 15<br>~R5. 8. 19  | 4名  | ・SDGsに関するプロジェクト<br>・グループ内で個人プレゼンテーション  |
|              | グローバル・スタディーズ・<br>プログラム (ISA)                    | R5. 3. 11<br>~R5. 3. 12  | 32名   | ・チームビルディング強化の活動<br>・外国の文化・習慣を学び、日本と比較して日本についてプレゼンテーションを行う。   |
| 大垣東<br>高等学校  | ビーバートン高校とのオン<br>ライン交流<br>(大垣国際交流協会)             | R4. 10. 11<br>~R5. 2. 11 | 4~5名  | ビーバートン高校とのオンライン交流  |
|              | 米国の学生とのオンライン交流<br>(大垣国際交流協会)                    | R4. 6. 18                | 4名  | 米国の学生とのオンライン交流   |
|              | ユネスコグローバルイシュー<br>ワークショップ<br>(大垣国際交流協会)          | R4. 12. 10               | 2名  | 海外の高校生と国際問題 (SDGsなど) について話し合う。   |
| 大垣西<br>高等学校  | 動画による文化交流<br>(大垣国際交流協会)                         | R4. 10. 31               | 40名<br>(2年生)  | オレゴン高校生と交流   |

| 学校名           | 活動・事業名<br>(主催者)  | 実施時期  | 参加者数   | 活動・事業内容   |
|---------------|--|---|--|---|
| 大垣工業<br>高等学校  | 国際理解教育ワークショップ<br>(大垣工業高等学校)                                | 第1回<br>R4. 11. 29<br>第2回<br>R4. 12. 23                          | 第1回 19名<br>(1年5名、2年12名、3年2名)<br>第2回 20名<br>(1年5名、2年13名、3年2名) | 世界の水問題について、認定NPO法人ホープ・インターナショナル開発機構より講師を招いて、対面形式のワークショップを実施。  |
|               | 第6回『英語で想いを語る会』<br>(岐阜県日米協会、在名古屋米<br>国領事館)                  | R4. 12. 18  | 2名 (2年生)   | 自由な発想で設定したテーマに基づき、パワーポイントを用いたプレゼンテーションを実施。その後、各校との英語による質疑応答。  |
| 関高等学校         | 中学生模擬国連会議 in SEKI<br>(関高等学校・関市観光協会)                        | R4. 7. 17   | 37名<br>(中学生27名・高校生10名)                                       | 中学生模擬国連会議とは、中学生たちが一つの国の大使になりきって仮の国連総会に参加し、他国の大使と自分の国の利益や世界情勢を考えながら議論を深め、一つの課題を解決していく会議である。主役はあくまで中学生。高校生のフロントスタッフと大使役は「調整役」「盛り上げ役」で、高校生による中学生のためのイベント。テーマはこれまで同様、架空の「国連カフェ」のメニュー決め。各国大使を割り振られた中学生は、国連カフェで提供されるメニューを作成する過程で「せかいのいま」を学ぶ。同時に、自国の利益や世界のあるべき姿を求めて「合意形成」をめざす。 |
|               | フィリピンオンライン留学   | R4. 7. 25<br>～R4. 7. 27   | 15名  | コロナ禍による海外研修の中止を受けて、関高校とフィリピンを結ぶオンライン交流を開始した。英会話レッスン・ライブスタディツアー・フィリピンの学生との英語コミュニケーション・英語スピーキングテストが主な内容である。   |
|               | フィリピンオンライン交流   | R5. 3. 27   | 177名<br>(関高校3名・フィリピンの<br>学生174名)                             | フィリピンオンライン留学に参加した生徒が、オンラインシステムを活用して、フィリピンの学生に向けて関市の魅力や日本の文化について英語で発信をした。  |
| 八百津<br>高等学校   | 特別授業<br>(八百津高校)  | R4. 12. 7   | 68名<br>(生徒67名 教師1名)  | 八百津町在住のイスラエル人リバーモア・ハニト氏による特別授業。テーマは「ユダヤ人から見た杉原千畝」   |
| 可児<br>高等学校    | ベトナムオンラインセミナー  | R4. 8. 3<br>～R4. 8. 12  | 16名<br>(1・2・3年)  | オンラインで、講師からSDGsをテーマにレクチャーを受けたり、パディーの支援を受けながらワークショップや異文化交流を行ったりして、最後に英語でプレゼンテーションを行う。  |
| 可児工業<br>高等学校  | オーストラリア姉妹校(ク<br>リーブランド地区高等学<br>校)との交流授業<br>(可児工業高等学校)      | R4. 4. 19<br>～R5. 1. 30   | 54名<br>(2年電気システム科<br>・3年英語会話選択者)                             | Web会議システムを利用した、相互の学習言語による会話活動   |
| 多治見北<br>高等学校  | 海外・国内一流大学で学ぶ留<br>学生とのディスカッション<br>～エンパワーメントプロ<br>グラム～       | R4. 12. 25<br>～R4. 12. 27                                       | 28名<br>(1. 2年)   | ディスカッションをはじめとするコミュニケーション活動を経験することを重点に置いた模擬留学体験活動  |
|               | Berlitz 講座開講   | R4. 11. 29<br>R4. 12. 6<br>R4. 12. 13<br>R5. 1. 10<br>R5. 1. 17 | 14名<br>(2年)  | 英語で会話する時のテクニックを学び、プレゼンテーションを英語で作成した後、プレゼンテーションを実施する   |
| 多治見工業<br>高等学校 | 専門高校生国際化推進事業<br>～グローバルエンジニアを<br>目指して～<br>海外インターンシップの<br>推進 | 中止  | 中止   | ①東京窯業(株)(TYK)の海外子会社である台湾東京窯業股份有限公司(台湾)で就業体験<br>②高雄市立中正高級工業職業学校と交流会  |
| 恵那<br>高等学校    | アートマイル国際協働学<br>習プロジェクト<br>(ジャパンアートマイル)                     | R4. 6～R5. 3   | 11名<br>(英会話部11名)   | ・クロアチアの高校生とインターネットを用いて交流。世界共通のテーマについて協働学習し、世界に訴えるメッセージを込めた壁画を共同制作<br>・外務大臣賞受賞   |
|               | 恵那サマースクール2022<br>(恵那地球塾・田舎塾)                               | R4. 7. 20   | 24名<br>(本校生徒23名・外部講<br>師1名)                                  | ・米国長期留学から帰国直後の留学生3名の発表と外部講師による講演  |
|               | 恵那地球塾<br>第2回 グローバル探究<br>プログラム<br>(恵那高校：恵那地球塾)              | R4. 7. 22～<br>R4. 8. 16<br>(全5日)                                | 24名<br>(本校生徒23名・講師1<br>名)                                    | ・地域の課題を取り上げ、解決策を探究し、グループごとに発表<br>・アメリカ楽天の駐在員とオンラインで結び、講義と発表の講評を実施   |
|               | リトアニア文化講座<br>(岐阜県)   | R4. 9. 1  | 11名<br>(英会話部11名)   | ・リトアニア国際交流員によるリトアニアの文化や伝統についての講座とワークショップ  |

| 学校名            | 活動・事業名<br>(主催者)  | 実施時期                      | 参加者数   | 活動・事業内容  |
|----------------|--|---------------------------|--|--|
| 恵那<br>高等学校     | POP講座<br>(恵那高校図書委員会)   | R4. 11. 16                | 25名<br>(本校生徒)  | ・「異文化を知る」と題し、青年海外協力隊での経験を通して、任地であるフィジーの文化・生活と現地高校生の学校生活・理科と数学の授業についての講義  |
|                | 恵那地球塾 国内留学体験<br>第5回 エンパワーメントプログラム<br>(恵那高校：恵那地球塾)                  | R4. 12. 26<br>～R4. 12. 28 | 21名<br>(本校生徒17名・講師4名)  | ・3日間すべて英語のみで活動するプログラム<br>・SDGsなどの国際問題、自己啓発のための討議やグループ活動  |
|                | サイエンスダイアログ<br>(スーパー・サイエンス・ハイ<br>スクール事業)                            | R5. 2. 1                  | 85名<br>(本校理数科生徒2年：外部<br>講師3名：ALT3名)                            | ・SSH事業<br>・日本国内の大学院在籍の研究者の研究について英語で聴き、自分たちの課題研究を英語で発表し、講評いただく  |
| 斐太<br>高等学校     | エンパワーメントプログラム<br>(ISA)   | R4. 12. 26<br>～R4. 12. 28 | 20名 (1・2年)   | 国内大学で学ぶ留学生とのディスカッションやプレゼンテーション等を通してコミュニケーション能力を高め、グローバル感覚を培う   |
|                | オンライン英語インタビュー<br>(斐太高校インターアクト部)                                    | R4. 7. 1                  | 4名<br>(インターアクト部)   | UOW (University Of Wollongong) College Hong Kong(中国語名称・香港伍倫貢学院)日本語研究学科の学生6名とインターアクト部4名がオンラインで、海外における日本文化などについて交流 |
| 吉城<br>高等学校     | 台湾嘉儀縣新港郷文教基金会との<br>意見交流会<br>(吉城高校、新港文教基金会)                         | R4. 8. 6<br>R4. 11. 19    | 20名<br>(1年9名、2年8名、本校職員<br>3名)                                  | 本校設定科目ESDの国際理解探究の授業で、地域課題と解決策に関し、英語でのプレゼンテーションと現地学生との意見交流をオンラインで2回実施。  |
| 岐阜盲学校          | 国際交流事業<br>国際交流員 (CIR) 派遣<br>(岐阜県商工労働部国際交流<br>課)                    | R4. 7. 7                  | 小学部2・3・5年<br>児童3名<br>教員8名                                      | 「外国語」や「外国語活動」等の一環として実施。異なる文化をもつ方(アメリカ)との交流活動(質問コーナー、ゲーム等)を通して、外国文化に親しむ。  |
|                | 国際交流事業<br>国際交流員 (CIR) 派遣<br>(岐阜県商工労働部国際交流<br>課)                    | R4. 7. 14                 | 小学部2・3・5年<br>児童3名<br>教員8名                                      | 「外国語」や「外国語活動」等の一環として実施。異なる文化をもつ方(ベトナム)との交流活動(質問タイム、ゲーム等)を通して、外国文化に親しむ。   |
|                | 国際交流事業<br>国際交流員 (CIR) 派遣<br>(岐阜県商工労働部国際交流<br>課)                    | R5. 1. 27                 | 高等部保健医療科1年<br>生徒3名<br>教員1名                                     | 「公共」の一環として実施。アメリカの概要や政治制度について知る。   |
| 恵那<br>特別支援学校   | 国際交流<br>ベトナム・リトアニアについて<br>知ろう<br>(恵那特別支援学校)                        | R4. 9. 1                  | 27名<br>(高等部3年生生徒21名<br>職員6名)                                   | ・オンラインでの交流<br>・ベトナム・リトアニアの紹介・制作活動(ハスの花・組紐)等  |
|                | 国際交流<br>ベトナムについて知ろう<br>(恵那特別支援学校)                                  | R5. 1. 17                 | 20名<br>(高等部2年生生徒15名<br>職員5名)                                   | ・オンラインでの交流<br>・ベトナムの紹介・制作活動(オンディアの仮面)等   |
|                | 国際交流<br>アメリカについて知ろう<br>(恵那特別支援学校)                                  | R5. 1. 19                 | 19名<br>(高等部1年生生徒14名<br>職員5名)                                   | ・オンラインでの交流<br>・アメリカの紹介・制作活動(バレンタインカード)等  |
| 市立岐阜商業<br>高等学校 | 杭州市旅游職業学校との交流<br>(本校)  | R4. 4                     | 19名<br>(3年生)   | 「文通」一つのテーマについて、中国語と日本語で文章を書いて送り、日中で添削。   |
|                | 日中不再戦碑文交換60周年記念<br>式典(日中)  | R4. 7. 25                 | 2名<br>(3年生)  | 中国語と英語でスピーチ  |
|                | 2022年杭州亜細亜スポーツ大会<br>Good Talk国際青少年バイリン<br>ガルスピーチ大会<br>(中国教育国際交流協会) | R4. 4                     | 1名<br>(3年生)  | スピーチコンテストのビデオ審査にて銀賞  |
| 鶯谷中学<br>・高等学校  | エンパワーメントプログラム<br>(ISA)   | R4. 12. 19<br>～R4. 12. 23 | 39名<br>(高1:29名、高2:10名)   | 日本の大学や大学院に在籍する留学生と少人数のグループでディスカッションやプレゼンテーションを英語で行う。   |
| 富田<br>高等学校     | 国際理解講演会<br>(富田高校・ボンドウ孤児院プ<br>ロジェクト・同志社大学)                          | R4. 10. 26                | 28名(国際科生徒 1・3年<br>生) ボンドウ孤児院プ<br>ロジェクト岐阜本部 代表1名・同<br>志社大学支部 2名 | 講師の方に講演いただき、大学生の皆さんと国際問題などについて考えた。   |

| 学校名             | 活動・事業名<br>(主催者)  | 実施時期                     | 参加者数   | 活動・事業内容   |
|-----------------|--|--------------------------|--|---|
| 岐阜聖徳学園<br>高等学校  | フィリピン・レイテ高校交流<br>(岐阜聖徳学園高等学校)                                | R4. 12. 15               | 15名<br>(1年15名)   | 交流のあるフィリピンのレイテ高校とオンラインで英語を用いて探求の中間報告                                |
|                 | 異文化国際 One Day Program  | R5. 2. 17                | 49名<br>(1年2クラス合同)  | 国内に留学している7か国の大学生に來校してもらい、フィリピン人ファシリテーターのもとで、一日かけて文化の交流を行った。         |
| 聖マリア女学院<br>高等学校 | English Training<br>Conversations<br>(聖マリア高校と岐阜大学の留学生)       | R4. 6～R5. 3              | 高1～高3<br>(それぞれの学年全員、<br>合計約270名)   | 小人数で英語で会話を楽しみながら国際交流<br>(合計で年に8回)                                   |
| 麗澤瑞浪<br>高等学校    | ハロウィーン大会、クリスマス<br>ジンジャーブレッド等異文化圏<br>内の祭り実施<br>(本校グローバル教育チーム) | R4. 9. 30<br>～R4. 12     | 26名 (日本人生徒18名、外国<br>人留学生8名)  | ハロウィーン、クリスマスなど時節に応じた異文化祭りを仮装やジンジャーブレッド作りを通じて学ぶ。                     |
|                 | ガウディに関する講演(本校)   | R4. 11. 9                | 533名 (全校生徒・教職員、<br>外国人留学生8名)   | 本校の卒業生であり、ガウディ研究の第一人者、実測家の田中裕也氏によるガウディ建築に関する講演。                     |
|                 | 平和に関するシンポジウム<br>(本校グローバル教育チーム)                               | R4. 11. 11               | 42名 (オーストラリア5名、台湾1<br>名、カンボジア1名、インドネシア<br>1名、アルメリア2名、アイルラン<br>ド1名、アメリカ2名、カナダ1名、<br>ニュージーランド1名、日本27名) | 日常における争いから世界規模の紛争に対し、中高生ができることを愛知教育大学の講師の基調講演に基づき議論。                |
|                 | 外国人留学生による日本語スピーチコンテスト<br>(本校グローバル教育チーム)                      | R4. 12. 28               | 49名 (外国人留学生8名、在<br>校生30名、ホストファミリー<br>2名、教員9名)  | インドネシア、カンボジア、台湾、オーストラリアの4か国の外国人留学生による日本語スピーチコンテスト。                  |
| 中京<br>高等学校      | 服のチカラプロジェクト<br>(中京高校国際コース)                                   | R4. 6. 29<br>～R4. 11. 30 | 27名<br>(1年14名・3年13名)   | 発展途上国へ服を寄贈。<br>GU社員によるオンライン講演。<br>オンラインや三者相談会などで保護者にも呼びかけ。          |
| 高山西<br>高等学校     | シンガポール<br>(高山西高校)  | R4. 12. 5<br>～R4. 12. 8  | シンガポール生徒4名<br>1年G組21名  | 授業体験や生活を共にし、異文化交流を行った。  |
|                 | 韓国<br>(高山西高校)  | R4. 5. 1<br>～R4. 12. 13  | 韓国生徒12名<br>2年F組18名   | オンライン等でやり取りを行い、手紙などのやり取りをした。探究活動では、お互い発表し、交流した。                     |
| ぎふ国際<br>高等学校    | 異文化国際交流講演会<br>(ぎふ国際高等学校)                                     | R5. 3. 15                | 225名 (1年生対象)<br>密集を避け、各教室に分散して受講   | JICA中部の講師によるマラウイ共和国の風俗や生活習慣、感染予防の活動を通して国際協力の必要性やSDGsとの関係性などの出前講座を受講 |
| 清凌<br>高等学校      | グローバル・イシュー・ワーク<br>ショップ<br>(大垣ユネスコ協会)                         | R4. 12. 10               | 11名<br>(本校生徒9名・教員2名)   | 西濃地区の高校生と外国人ファシリテータを交えて、英語で地球規模での諸課題について意見交流を行った。                   |